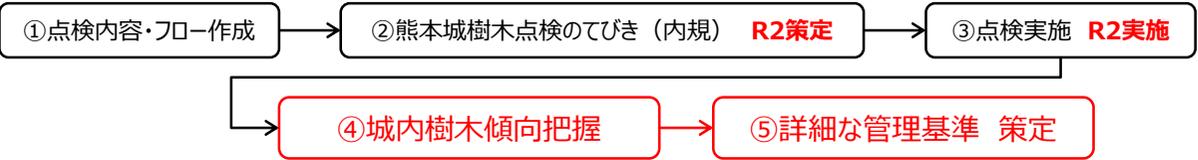


熊本城樹木管理について

- ・H30.3 『特別史跡熊本城跡保存活用計画』策定
緑の保存管理について方針を定めたものの「詳細な管理基準」については別途策定する旨を記載
- ・H30.10 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 計画部会
点検内容とフロー図及び今後の流れ（案）について了承



■点検実施範囲

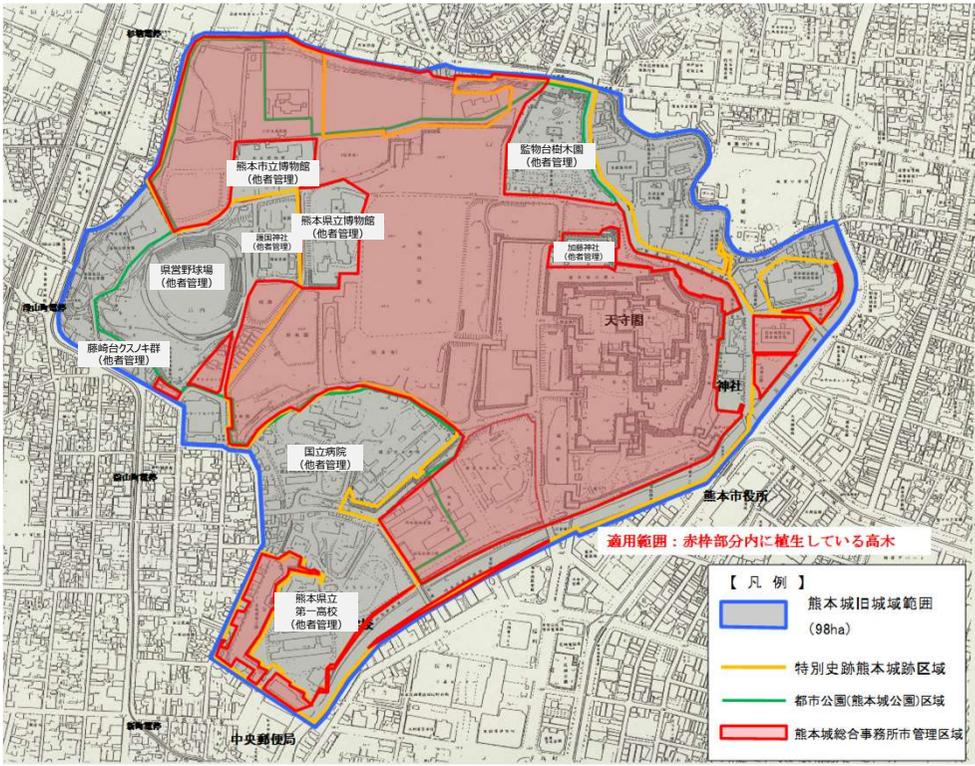
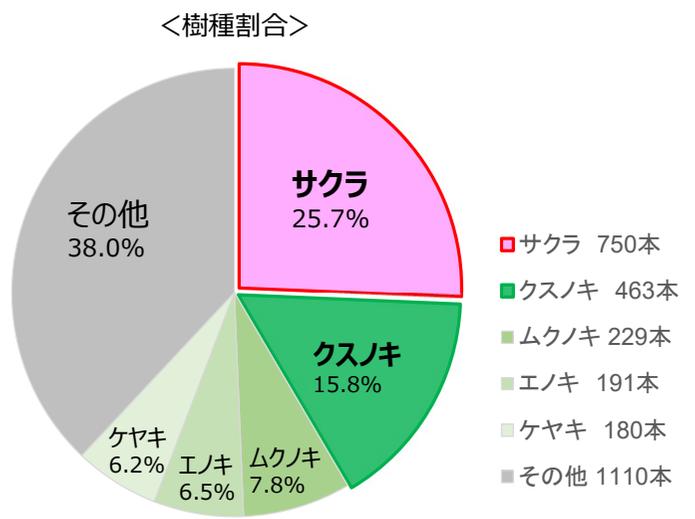


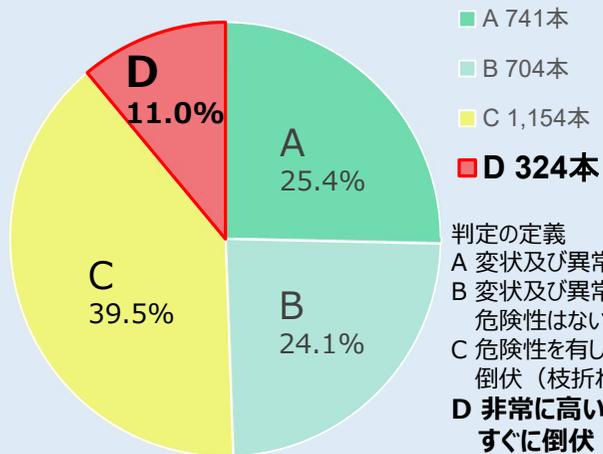
図1 熊本城管理区域（赤色範囲）

H3.0m以上の樹木
2,923本 (87樹種)



1. 安全確保 樹木の健全性

＜健全度判定＞

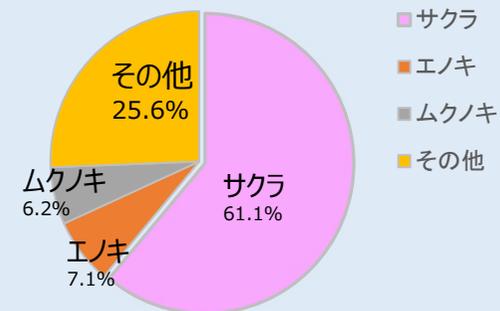


- A 741本
- B 704本
- C 1,154本
- **D 324本**

判定の定義
 A 変状及び異常なし
 B 変状及び異常が認められるが、危険性はない
 C 危険性を有しているが、すぐには倒伏（枝折れ）しない
D 非常に高い危険性があり、すぐに倒伏（枝折れ）するおそれがある

全樹木の約 **1割** がD判定樹木

＜D判定樹木の主な樹種＞



D判定の樹木



A,B,C判定・・・2,599本

D判定・・・324本



経過観察



D判定樹木は**安全確保**のため
 今後**伐採・剪定が必要**

※サクラについては補植などによる世代交代を行い景観の継続保持に努める

2. 遺構保護 ①重要文化財建造物等に影響 ②石垣・露出遺構（礎石・溝等）に影響

①重要文化財建造物等に影響を与えている樹木

建造物近接樹木(※注1)かどうかの判断、建造物と樹木の離隔、建造物への樹木の影響が認められるもの

(※注1) 重要文化財建造物等に樹冠が被る樹木、重要文化財建造物等から樹木幹部分までの離隔が樹高以下の樹木



37本が対象

多くは10.0m以内の樹木が影響
最大で17.0m離れている樹木が
影響を与えていることを確認

- ・クスノキ 18本
- ・サクラ 13本
- ・その他 6本

②石垣・露出遺構（礎石・溝等）に影響を与えている樹木

石垣、露出遺構（礎石・溝等）の周辺樹木でその影響が認められるもの



313本が対象

石垣から最大で5.0m以内に
植生する樹木が石垣に影響を
与えていることを確認

- ・クスノキ 67本
- ・サクラ 64本
- ・その他 182本

建造物へ影響...37本

石垣等へ影響...313本



遺構保護のため剪定等の対応を検討

3. 眺望確保について

各視点場から



眺望確保のため剪定等の対応を検討

(樹木で隠れてしまっている石垣や文化財建造物が見えるように)

撮影時期：12月

①加藤神社横



②棒庵坂下



③千葉城橋際



⑧二の丸広場



④通町電停付近



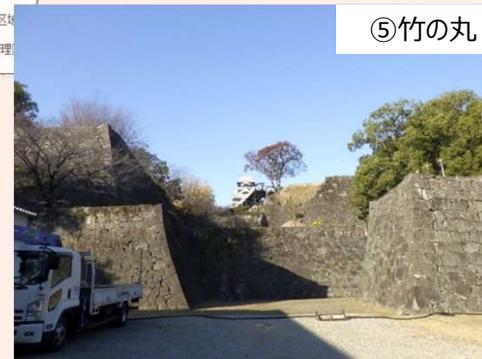
⑦備前堀縁 行幸坂



⑥桜町交差点付近



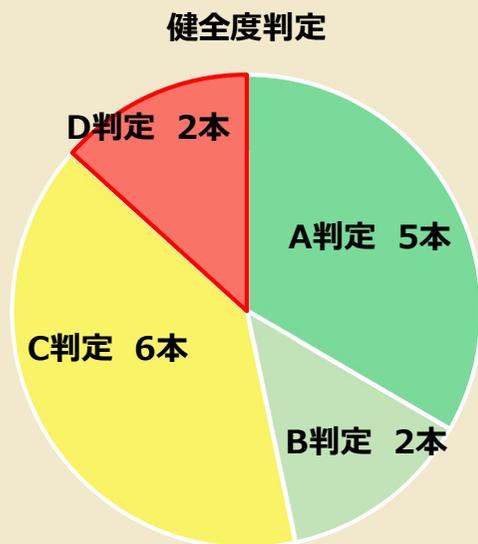
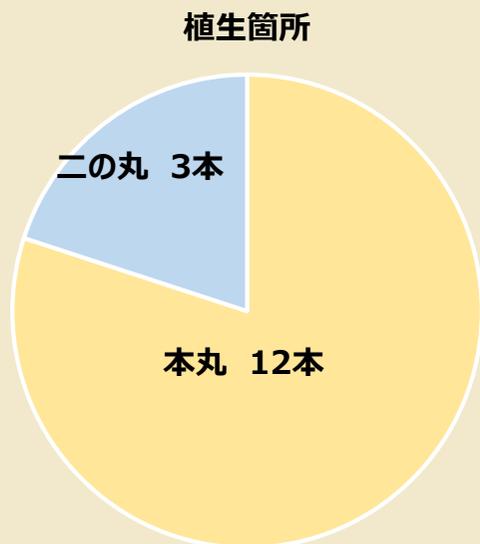
⑤竹の丸



4. 古樹について

古樹とは、古文書・絵図・古写真等（1877年（明治10年）以前に撮影された写真）を基に、幕末以前からその存在の確認が可能であり、その当時から存在していたことが明らかと推測できる樹木

古写真より15本が該当することを確認（クスノキ10本 イチョウ2本 ムクノキ2本 スダジイ1本）



➡ D判定についても
保存の措置
遺構保護との兼ね合いも考慮

判定の定義

- A 変状及び異常なし
- B 変状及び異常が認められるが、危険性はない
- C 危険性を有しているが、すぐには倒伏（枝折れ）しない
- D 非常に高い危険性があり、すぐに倒伏（枝折れ）するおそれがある



5. その他問題点 (各エリア)

本丸ゾーン

- ① 行幸坂のサクラ 衰弱
- ② 肥後名花園 高木による遮光
- ③ 飯田丸の梅園 高木による遮光



二の丸ゾーン

- ④ 二の丸広場 枯れ枝等安全管理
- ⑤ 野鳥園 枯れ枝等安全管理
- ⑥ 清爽園 斜面上樹木 倒木のおそれ



三の丸ゾーン

- ⑦ 藤崎台北側 樹木列植 過密
- ⑧ 旧細川刑部邸 日本庭園としての管理
- ⑨ 三の丸第一駐車場 樹木の根上がり



古城ゾーン

- ⑩ 古城堀端公園のサクラ 衰弱
- ⑪ 城彩苑入口 枯れ枝等安全管理
- ⑫ 第一高校周辺 枯れ枝等安全管理



熊本城みどり保存管理計画（案）

【策定内容（案）】

遺構の保護、安全の確保、眺望の確保に配慮した樹木管理を行い、史跡と緑の調和を図るために策定するもの

第1章 計画策定の沿革と目的

計画策定の背景、適用対象範囲、策定の体制と経過（委員会）、計画の位置づけ

第2章 特別史跡熊本城跡の概要、歴史的変遷

位置、歴史と価値、土地利用の変遷、遺構調査・表土の状況、利活用状況と今後の予定

第3章 熊本城跡における環境面

気候と土壌、熊本城におけるみどりの役割

第4章 みどりの現状と課題

遺構への影響、健全性・安全性、景観面、古樹、梅・桜、高木以外のみどり（草本、花壇等）

第5章 みどりの保全と管理の方針

エリア全域にわたる方針、全体方針を踏まえた地区別詳細（本丸、二の丸、三の丸、千葉城、古城）

第6章 樹木管理の体制

総合事務所の体制、樹木管理に係る受託業者や樹木医等との体制、市民との協働体制

第7章 事業実施計画

短期計画、中長期計画